

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭和50年～			
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	04 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	01 都市交通施設(駐車場の整備)
事務事業名		02	市営駐車場管理事業
根拠法令・例規等		備前市営駐車場条例 備前市営駐車場条例施行規則	
担当課(室)		都市整備課	
職・氏名		係長 万波 文雄	
電話		0869-64-1851	
このシート作成に要した時間		2.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	公営駐車場を利用する市民及び観光客
目的(何のために)	公営駐車場の整備や施設の適切な管理運営を行なうことで、地区住民をはじめ商店街や島民の利便性の向上と駐車違反の防止を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	違法駐車を減らし、安全で快適な走行ができて生活しやすいまちをつくる。

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
目的を達成するために実施した事業	一般駐車場管理事業	市営駐車場は一般駐車場と定期駐車場の2種類があります。使用する区画を決めて、月単位で使用料をいただくのが定期駐車場です。一般駐車場は臨時に使用した台数や日にちに応じて使用料をいただきます。 現在、一般駐車場は日生地域の東備港にある港駐車場に10区画、吉永地域の駅前駐車場に23区画あります。 一般駐車場の収入は予測がつきにくいものですが、利用する人数が多くなるよう駐車場であることの表示を始め、使用料、支払い方法についてわかりやすい案内に努め、収入増を図ります。	
	定期駐車場管理事業	現在、定期駐車場は日生地域に10カ所252区画、吉永地域に2カ所79区画あります。日生地域は地理的に平地が少なく、慢性的な駐車場不足だった時期があったため、公営駐車場の整備を進めた経緯があり、箇所、区画ともに多くなっています。 日生地域は地理的に平地が少なく、慢性的な駐車場不足だった時期があったため、公営駐車場の整備を進めた経緯があり、管理箇所数、区画数ともに多くなっています。 吉永地域は吉永駅前に通勤者用に、雇用促進住宅付近の住民のためにと合わせて、2カ所管理しています。  収支はほとんどすべての駐車場で黒字と健全な経営状況となっており、昨年度は年間約1,000万円の積み立てをしています。 21年度は4月から日生の港駐車場にあった62区画を廃止したため、全体の区画数が2割減りました。収入も約2割減となっています。 定期駐車もPRに努め、利用率のアップを図り、健全経営を維持する必要があります。	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		17,080	16,714	13,024	
	必要人員(人件費)	千円	0.96人	5,617	0.61人	4,850
	事業費		22,697	21,564	17,921	
	国県支出金					
	受益者負担		19,006	19,000	15,461	
	繰入金	千円				
その他( )						
一般財源		3,691	2,564	2,460		
受益者負担比率	%	83.7%	88.1%	86.3%		
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	対前年増減率	%	329	323	332	
	対前年増減率	%	-	-	98.2%	
	対前年増減率	%	-	-	102.8%	
	対前年増減率	%	-	-	102.8%	
活動コスト	円	22,697,000	21,564,000	13,023,648		
単位当たりコスト	円	68,988	66,762	39,228		

事業の成果						
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値	
駐車場利用率の向上	目標値(A)	90%	90%	90%	90%	
	実績値(B)	86%	82%	85%	到達目標値	
	達成率(B/A)	95.56%	91.11%	94.44%	95%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
利用率 = (市営駐車場の利用区画数 ÷ 市営定期駐車場総区画数) × 100						

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> <b>B</b>
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> <b>B</b>
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E> <b>B</b>

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	これまで当事業は日生、吉永の総合支所管理課が管理・運営していたが、H22年度から都市整備課が担当することとなった。管理に当たっては、駐車場まで近く、経緯やそれぞれの駐車場の特徴を熟知している総合支所職員の方が適切で、迅速な対応が可能である。しかし、総合支所の協力を得ながら、利用者が気持ちよく使える駐車場の維持管理を心がけ、より能率的で効率的な運営方法を模索していきたい。					

総合評価	
公営駐車場の管理、運営は旧日生町(11箇所)と旧吉永町(2箇所)で行なっている事業である。駐車場は定期駐車と一般駐車場の2種類に分かれている。旧日生町では宅地が少ないという地理的条件を反映して、住民対策ならびに観光、経済対策のため、また旧吉永町はJR利用の通勤者及び雇用促進住宅入居者対策のために町が整備したという経緯がある。管理経費は使用料で十分まかなわれており、引き続き市が管理、運営を行なうのが妥当な判断であると考えられる。	評価区分 <A-E> <b>B</b>

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	旧日生町と旧吉永町の管理方法にはこれまでの経緯から、管理方法に若干の違いが認められる。担当部署が一元化されたからと言って、急に管理方法を統一するのではなく、現状を分析し、最善の方法を検討していく必要がある。具体的にあげると、一般駐車場の管理人の常駐について、使用料の振替払いについて、月払いが2期払いについて、敷金の徴収について等があげられる。利用者にも管理運営者にも利点がある改善策を講じ、使いやすく、管理しやすい市営駐車場の環境づくりを目指す。					

留意事項  
留意事項の目的やその数値目標を達成するための成果指標

事業の目的、対象、内容を考えてから妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい